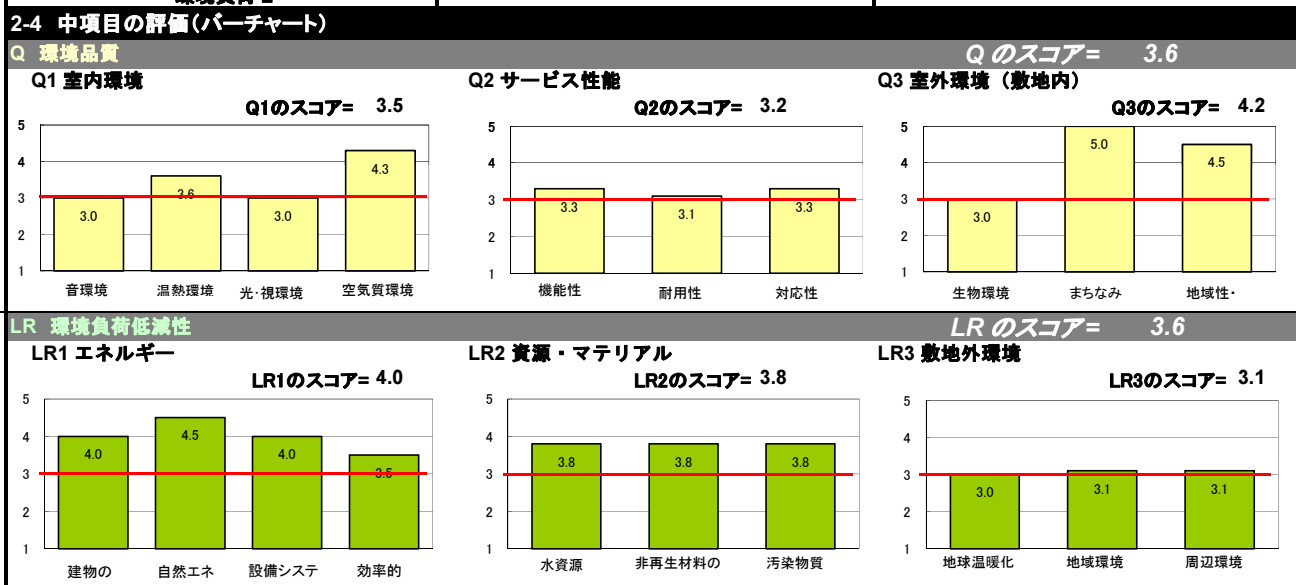
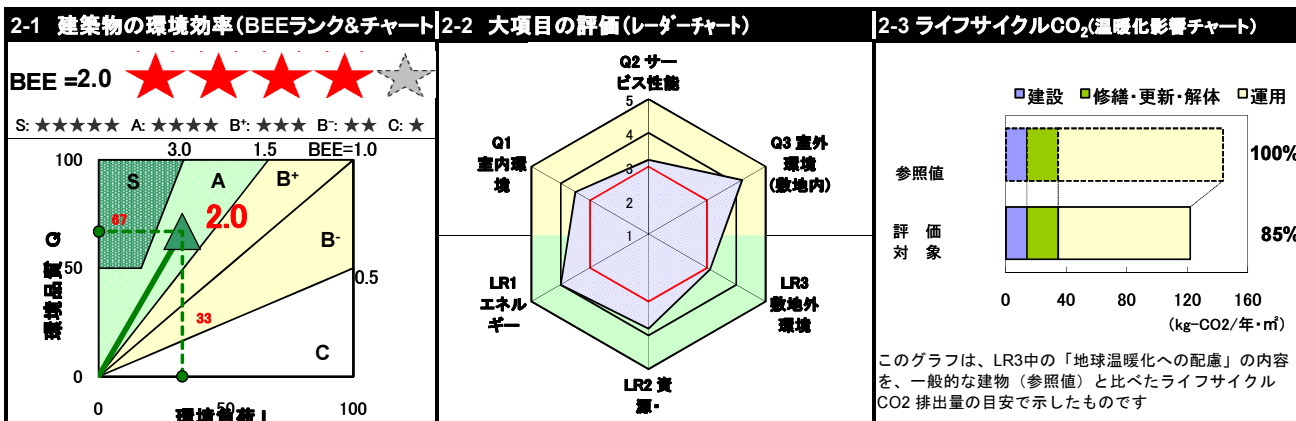


CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	左京区総合庁舎	階数	地下1F、地上3F
建設地	京都市左京区松ヶ崎修理式町12番	構造	RC造
用途地域	第1種住居専用地域	平均居住人員	500 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,800 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年4月 予定	評価の実施日	2009年7月27日
敷地面積	7,000 m ²	作成者	松岡
建築面積	3,991 m ²	確認日	2009年8月10日
延床面積	13,143 m ²	確認者	浜田



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。		注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
環境配慮型庁舎として、「省エネルギーの推進」「環境負荷の軽減」「周辺環境への配慮」「LCCO2の削減」を図る。		
Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	Q3 室外環境(敷地内) 注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
軒の深い庇と開口部に設置したルーバーにより、日射制	バリアフリーへの配慮を行うほか、天井高の高い機能的	「勾配屋根によるヴォリュームの軽減」「地上部・屋上
LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
外壁や屋上の十分な断熱を行い、空調不可を軽減させる。	高炉セメント、再生材使用タイル、エコケーブルなどのリサイクル材を使用する。	建物を適宜分節・セットバックさせ、周辺への圧迫感を軽減させる。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される